

令和2年2月17日

## タブレット端末を活用した営業支援システムを導入

当金庫は、NECが提供する営業支援システムを採用し、令和2年2月17日より全店で稼働します。

従来のハンディ端末の更改時期を迎え、今般、2 in 1 機能を有した最新のタブレット端末を採用する事により、外訪時は集金業務ならびに提案セールスのためのツールとして、帰店後には収集した情報の入力、各種リストの作成や行動管理等、PC機能としての活用ができ、営業職員の業務効率化、事務の堅確化、ペーパーレス化を支援するシステムを導入いたします。

### ■新システムの主な機能

#### (1) 電子サイン機能

- ・預金契約時等に受取書発行に替え、お客さまの電子サインで意思確認とし、営業事務の効率化と預かり物件管理のシステム化により管理の厳格化を図る。

#### (2) 内部APIの活用

- ・持ち出し現物の管理対象であった顧客情報等が、セキュアにリアルタイムで参照可能。(信用金庫初)
- ・通帳紛失等の事故設定、再発行届等の受付も外訪先でリアルタイムに対応可能。(令和2年4月予定)

#### (3) 投資信託情報参照機能

- ・お客さまの投資信託契約状況、各ファンドの基準値価格推移等、最新の投資信託情報の参照機能。

#### (4) 地図情報連携

- ・訪問予定先、各種リスト先情報の地図上への表示、また、帰店後に訪問履歴・ルートを表示。

#### (5) カメラ機能

- ・外出先で撮影した担保物件等の画像データをタブレット内に残すことなく、サーバーへ送信。OCR機能により、マイナンバーの収集が可能。

#### (6) その他

- ・外訪先にてCRM情報の(交渉履歴、ニーズ情報等)の参照、入力が可能。
- ・各種商品パンフレット等の画像データの閲覧機能。
- ・帰店後の内部処理の必要のないセンターカット機能を拡大し、店内事務の削減を図る。